

新日鉄 新たに土木向け2製品でエコマークを取得 **～エコマーク製品 業界ナンバーワンのラインナップ～**

新日本製鐵株式会社（社長：宗岡正二）は、（財）日本環境協会が実施するエコマーク認定制度において、新たに土木向け2製品でエコマークを取得しました。取得したのは、「TN-X工法向け鋼管杭」と「ジャイロプレス工法 向け鋼管杭」の2製品です（別紙1）。

エコマーク制度とは、製品のライフサイクル全体を通じて環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品を認定する制度であり、認定商品には「エコマーク」を付けることが許可されます。環境に配慮した商品の普及を促進することで、環境にやさしい社会の実現を目指した制度であり、2009年6月現在、印刷用紙等43商品類型で4495商品が認定されています。

「土木製品」については平成17年にエコマーク認定基準が制定され、新日鉄は鉄鋼業界で初めて、土木4製品（透水性鋼矢板、TN工法向け鋼管杭、ガンテツパイル、NSエコパイル）について、エコマークを取得しました（別紙2）。今回認定された2製品と併せて、新日鉄のエコマーク製品は合計6製品となり、業界ナンバーワンのラインナップとなります。

エコマークの認定は、個別商品が持つ施工時や供用時の環境負荷低減などライフサイクル全体での環境負荷低減効果のみならず、企業活動における環境法規および公害防止協定の遵守、製造段階における廃棄物発生量、新規資源投入量、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量への配慮が、総合的に評価された上で認定されるものです。

新日鉄は、環境に優しいエコプロダクツを生産・提供することで、社会全体での環境負荷の低減、持続可能な発展に貢献していくことを経営方針としています。その一環として、既に取得済みの製品も含め、エコマーク製品については環境配慮型の建材製品として、今後より一層の拡販に注力していきます。

今回認定された2商品は、いずれも低排土用鋼管杭の商品類型に属し、それぞれの商品概要は下記の通りです。







TN-X工法向け鋼管杭

拡翼・縮翼可能な掘削ヘッドにより杭先端にコンクリートの拡大根固め部を築造する鋼管杭圧入工法。低排土杭工法であると共に低振動・低騒音を実現。加えて極めて高い支持力を発揮可能。株式会社テクノックスとの共同開発

ジャイロプレス工法 向け鋼管杭

杭先端に掘削推進用のビットを取り付けた鋼管杭を自走式ジャイロプレス機により回転圧入する鋼管杭工法。無排土工法であると共に低振動・低騒音を実現。自走可能であるため、市街地等狭隘地での河川護岸、道路擁壁の建設に効果発揮。株式会社技研製作所との共同開発

(別紙1)【今回新たにエコマーク認定を受けた2製品】

名称	環境に関する特徴
<p>T N - X 工法向け 鋼管杭</p>  <p>認定番号 09 131 004</p>	<p>拡翼・縮翼可能な掘削ヘッドにより杭先端にコンクリートの拡大根固め部を築造する鋼管杭圧入工法。コンクリート場所打ち杭と比較し、杭体部土砂の全面置換が不要なため、排土量を大幅に削減可能。加えて、低振動・低騒音施工および極めて高い支持力発現を実現。</p>  <p>杭先端部</p>  <p>T N - X 工法、先端根固め部</p>
<p>ジャイロプレス工 法 向け鋼管杭</p>  <p>認定番号 09 131 005</p>	<p>杭先端に掘削推進用のビットを取り付けた鋼管杭を自走式ジャイロプレス機により回転圧入する鋼管杭工法。無排土工法であると共に低振動・低騒音を実現。自走可能であるため、市街地等の狭隘地での河川護岸、道路擁壁等の建設に効果発揮。</p>  <p>ジャイロプレス工法</p>  <p>杭先端部</p>  <p>ジャイロプレス機</p>

(別紙2)【既にエコマーク認定を受けている4製品】

名称	環境に関する特徴	写真
透水性鋼矢板	鋼矢板の打設は、地下水循環を妨げる危険性があるが、あらかじめ透水孔を設けた鋼矢板を使用することで地下水流循環を可能とし、生態系の保全に寄与できる。	
T N工法向け鋼管杭	一般的な杭基礎では、杭体と同体積以上の排土が発生するが、鋼管杭内に挿入したオーガスクリューで杭先端を緩め圧入することで、排土量を30%以下に低減できる。	
ガンテツパイル	一般的な杭基礎では、杭体と同体積以上の排土が発生するが、掘削土にセメントミルクを混合して杭構造体の一部として有効活用することで、排土量を30%以下に低減できる。	
N Sエコパイル	一般的な杭基礎では、杭体と同体積以上の排土が発生するが、杭先端に羽根を付け杭自体が回転しながら圧入し土を杭内部へ圧密することで、排土をゼロ更にはマイナス排土に低減できる。	